

報告へのコメント 2

高崎健康福祉大学農学部
アグリビジネス研究室
齋藤文信

コメントの骨子

適正価格の実現(木村報告)

→「適正」とは？

- ・需給バランスによる市場での価格形成機能
- ・農業経営体間の生産コストの相違
- ・川下分野の業種・業態のボーダーレス化

食品産業の持続的な発展(岡崎報告)

- ・各地域の食文化を基盤に多様な組織の存在
→他産業と比較して中小零細を含め多彩な構造
- ・競争(差別化)と協業のバランス
→物流など共通課題・非差別化分野の協業は進行中
社会課題は協業を促進させる
- ・他省庁(経産省・中小企業庁)との政策連携がポイント

物流問題(青木報告)

→食料品(生鮮食品)とくに青果物

- ・大都市の中央卸売市場への基幹的出荷
(価格形成の観点から産地の機会主義的出荷)
- ・分荷、市場間転送による物流の複雑化(動脈と毛細血管)
(長距離輸送とラスト1マイル、荷役業務の分析)
- ・特に省庁間連携がポイント(BSEの教訓)

食料品アクセス問題(高橋・丸山報告)

→基本は「リスクマネジメント」

- ・危機が及ぶ範囲、影響の大きさ、
影響の期間、品目(質)、頻度想定
- ・都市開発や交通、商業分野など学際的側面

研究面への課題について

- ・学際的(農業経済学と関連分野が重層的に関係する)
- ・物流など農業経済学が十分に対応できていない分野の存在



- ・関連近接分野を含めた他分野連携研究(学際的な)体制が必要



- ・食品産業など企業を対象とした研究の難しさ(企業情報入手と成果公表)